

学校図書館活用推進事業 事例報告会を開催しました！

平成29年11月24日(金)および28日(火)の両日、大阪市立中央図書館において「学校図書館活用推進事業 事例報告会」を開催しました。口頭報告は、第1部「事業全体を見通して～今まで、そしてこれから～」、第2部「学校での活動事例」と題してのプレゼンで、第2部ではゲストレポーターとして、当該校の校長先生、図書館担当の先生ほかを招きました。展示では、各校の掲示物や図書展示コーナーなど、見てわかる学校図書館の環境整備の様子を紹介しました。

【口頭報告 第1部】

事業のねらい、成果と課題では、本事業の発端と背景を説明し、テレビ報道で「開かずの間」と言われた大阪市の学校図書館が、この3年間で環境整備面において大きく改善したことを報告しました。今後、環境整備の維持・充実と学校図書館活用教育が“車の両輪”であるべきと結びました。学校図書館活用推進事業におけるコーディネーターの役割では、154人の補助員、420校の学校をサポートし、つなぐ立場として、コーディネーターが活躍していること、コーディネーターの仕事を通して各学校での課題がさまざまに浮かび上がってきたことを報告し、本事業が組織的・有機的に動いていることを示しました。



【口頭報告 第2部】

図書館活用推進に向けての工夫
～補助員配置をきっかけに～

2. 補助員配置日に「図書の日」を割当て

全学年、補助員配置日の金曜日に「図書の日」

東桃谷小学校 図書館の立地条件が悪く、教員も多忙な中、補助員による環境整備が進んだことで学校図書館の活用が進んだ好例です。コーディネーターの提案をきっかけに補助員配置日を「図書一日あいてんでー」と命名し、教頭先生が独特の口調で校内放送を入れている点、補助員配置日に全学年の図書の日を割り当てることで教員と補助員のコミュニケーションを深めている点など、学校と補助員・コーディネーターの連携により、学校図書館が楽しく学べる場所として定着しています。

長吉中学校 図書館の様子

左: 長吉中 図書室の様子
右: 長吉中 図書室の様子

長吉中学校 補助員配置日は「いつでも開いている図書館」が定着し、生徒たちでにぎわう長吉中の学校図書館。本を読むだけでなく、百人一首かるたをしたり CNET による即席英語授業が行われていたり、学校図書館という場が幅広くとらえられています。また、館内には映画や展覧会のチラシがたくさん貼られていたり、図書館前の廊下に新聞記事の切り抜きが掲示されていたり、生徒の知的好奇心に幅広く応える仕掛けが満載です。これらが、教職員・補助員・元気アップなど、たくさんの関係者の関わりにより実現しています。

【展示】

掲示物・表示の工夫や図書展示コーナーづくりなど、5つのコーナーで、各学校の取り組み事例を実物を交えて展示しました。熱心に写真に収める来場者も多くみられました。



事例報告会の内容をベースに、大阪市の学校図書館の今をご覧ください「大阪市学校図書館フェア」を、来る1月14日(日)10:00～16:00、中央図書館で開催します。ぜひご来場ください。

大阪市立中央図書館 学校図書館活用推進事業ページ http://www.oml.ci.ty.osaka.lg.jp/?page_id=1577